

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
国 語	古 典 探 究	2	2	理系NP	10・11組

教科書	「古典探究 古文編」(筑摩書房)	副教材	「読解を大切にする 体系古典文法」(数研出版)
	「古典探究 漢文編」(筑摩書房)		「基礎から解釈へ 漢文必携」(桐原書店) 「読んで見て覚える重要古文単語315」(桐原書店) 「新訂総合国語便覧」(第一学習者)

科目の目標	<p>1. 文学に幅広く触れ、多様な見方・考え方・感じ方を知ることで、物事を多角的に捉えることのできる人間性を養う。</p> <p>2. 言語による伝え合う力を確かなものとするため、話す・書くといった表現活動と、聞く・読むといった理解活動に取り組み、他者との対話に生きる体系的な国語力を身に付ける。</p> <p>3. 文学と言語を総合的に学習し、国語に関する知識を深め関心を高めることで、国際社会に生きる実践的な国語力を身に付ける。</p>
-------	---

科目の概要	<p>1. 上代から近現代まで幅広い時代の文学作品を通して、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにするとともに、文学作品を読み味わう楽しさを知る。</p> <p>2. 言語事項について、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等の知識を身に付ける。</p> <p>3. 文章の読解について、その内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉える力を養う。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知識・技能」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	○古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできたか。 ○古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができたか。	○文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができたか。 ○作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができたか。 ○古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができたか。	○文学作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、文学作品について自分の考えを持つことができたか。 ○同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりすることができたか。
評 価 の 方 法	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、各学期末の平常点で評価する。

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	<p>【古文編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「刑部卿敦兼の北の方」(『古今著聞集』) <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近体詩 <p>【1学期 中間試験】 5月18日～21日</p>	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法事項の知識を確認する。 ・話の展開と登場人物の心情を読み取る。 ・歌の修辞を理解し、読解につなげる。 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近体詩の形式について理解し、韻文と散文の違いについて考える。 ・基本的な漢語・助字の意味・用法を理解する。
	<p>【古文編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「万葉の歌」「王朝の歌」 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「先従隗始」(『戦国策』) <p>【1学期 期末試験】 7月1日～7日</p>	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・句切れや調子、修辞などの表現の特色に留意し、その効果について理解を深める。 ・時代に伴う和歌の変化について考え、理解する。 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきた訓読の方法を確認する。 ・繰り返し音読をし、漢文のリズムになじむ。 ・郭隗の説得術に用いられている工夫について理解する。
2 学 期	<p>【古文編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中納言参り給ひて」(『枕草子』) <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「怒髪上衝冠」(『史記』) <p>【2学期 中間試験】 10月13日～16日</p>	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な敬語法について理解する。 ・敬語に注意して人物関係を把握する。 ・当時の宮中の様子や世界観について理解する。 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の背景や背景を理解し、それぞれの登場人物の立場や役割を読み取る。 ・藺相如の交渉術の巧みさを理解する。
	<p>【古文編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「紫式部」(『無名草子』) <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人無有不善」(『孟子』) ・「性悪」(『荀子』) <p>【2学期 期末試験】 12月1日～7日</p>	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紫式部の人物像を読み取る。 ・敬語を活用して、物語の展開や人物関係を読み取る。 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸子百家およびその思想について学ぶ。 ・『孟子』と『荀子』における人間観を読み取る。
3 学 期	<p>【古文編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「和泉式部と清少納言」(『紫式部日記』) <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「論文」(『文選』) <p>【3学期 学年末試験】 3月4日～9日</p>	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉式部の歌に対して作者がどのような批評をしているかを理解する。 ・清少納言をどのように批評しているかを理解する。 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対比や比喩などの文章の表現について理解する。 ・文章の創作がもつ重要な意義とその根拠を理解する。